

プラス記事 10%増、ニュートラル・マイナス記事 1.5 倍

JR東日本が4カ月ぶりの1位 ホンダとソニー、EV提携でトップ5に

3月度のプラス評価は71億4779万円、ニュートラル・マイナス評価は56億2903万円だった。前月と比較するとプラス換算値は10%増、ニュートラル・マイナスは約1.5倍となった。3月は、人物やSDGs関連などの大型コラムでトップが取りあげられた企業が換算値を伸ばしてランクインした。なかでも、日経の「脱炭素社会 創る」に登場した4社の順位上昇が目立った。

1位JR東日本は4カ月ぶりのトップだった。鉄道遺構「高輪築堤」を取りあげた朝日「はじまりを歩く」の記事が、1件で7565万円と同社で最大の換算値だった。そのほか、読売「ミュージアムへ行こう」での東京ステーションギャラリーの紹介や、16日に発生した地震の影響で運休となっていた東北新幹線の一部区間再開などが話題となった。

2位トヨタ自動車は、北京パラリンピックに出場したアルペンスキートの村岡桃佳選手が金2個を含む計3個のメダル、森井大輝選手が銅メダル2個を獲

得し、前月に続いて「人」の換算値を伸ばした。読売のパラリンピック特集では、トヨタの技術が盛り込まれた両選手のチェアスキーも紹介された。

3位ホンダと5位ソニーグループはEV事業での提携を発表し、そろって5位以内に浮上した。ソニーは3カ月連続のトップ5入りとなった。1月にもモビリティ事業への参入を発表して注目されていたが、4日に行ったホンダとの共同記者会見を全紙が翌日朝刊で記事化、吉田憲一郎会長兼社長の「ITと通信技術を軸にモビリティ空間の進化をリードする」とのコメントが掲載された。

15位三菱商事は小林健会長が日商会頭に内定し、初の商社出身会頭という点に関心が集まった。そのほか、中部電力等との企業連合で落札した洋上風力発電の公募事業について朝日が解説記事を掲載。読売は社説で取りあげ、政府想定価格を下回った売電価格について「国民負担の抑制を図る企業連合の姿勢は評価できる」と伝えた。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	JR東日本	196,342	朝日「はじまりを歩く」で「高輪築堤」を紹介。ほか東京ステーションギャラリーなど。
2	トヨタ自動車	190,309	北京パラリンピックでスキートの村岡桃佳選手と森井大輝選手がメダル獲得。
3	ホンダ	176,465	ソニーグループとEV事業での提携を発表。「提携・合併」52%、「社員」15%。
4	全日本空輸	156,243	フィギュアスケートの「羽生結弦展2022」を主催の読売が掲載。
5	ソニーグループ	125,434	ホンダとEV事業で提携すると発表。「提携・合併」62%、「技術」13%。
6	ジャストシステム	121,421	日経「私の履歴書」に創業者の浮川和宣氏が登場。「人」84%、「商品」14%。
7	東京ドーム	103,866	改修後のドームで報道陣向け内覧会。新型コロナワクチンの3回目接種会場に。
8	ユーチューブ	99,050	読売「popstyle」でストリートピアノ演奏ユーチューバーのよみい氏を紹介。
9	三井不動産	93,541	日経「脱炭素社会 創る」に菰田正信社長が登場。「社長・会長」43%、「経営」23%。
10	サントリーHD	91,096	日経「未来面」に新浪剛史社長が登場。「社長・会長」58%、「社員」26%。
11	ツイッター(米)	86,056	露のウクライナ侵攻関連でウクライナ支援ツイートの増加など。
12	パナソニック	81,761	ラグビーの竹山晃暉選手など「人」33%。ほか4月の持ち株会社制移行など。
13	アップル(米)	78,415	「iPhone SE」の新モデルを発売。「商品」80%、「経営」6%、「販売」4%。
14	大日本印刷	77,806	「NIKKI The STYLE」でDNPプラザで開催の「気配のつくりかた」展を紹介。
15	三菱商事	77,491	日商会頭に小林健会長が内定。ほか洋上風力発電事業の落札関連など。
16	関西電力	70,668	日経「脱炭素社会 創る」に森本孝社長が登場。「社長・会長」45%、「生産」34%。
17	東京ガス	67,879	毎日「時代の扉 広告150年秘史」で創立からの歴史を紹介。「経営」49%。
18	住友林業	66,602	日経「脱炭素社会 創る」に光吉敏郎社長が登場。「社長・会長」57%。
19	三井住友海上火災	66,364	日経「脱炭素社会 創る」に船曳真一郎社長が登場。「社長・会長」51%。
20	明治	65,727	読売「LEADERS 経営者に聞く」に川村和夫HD社長が登場。「社長・会長」89%。